

事業 番号	事業名	事業概要		確定額 (千円)	事業区分		
		事業実施により実現できた具体的効果・成果					
	事業者名	実施地等			重点等		
		実施期間					
URL							
内28	第11回エコバランス 国際会議	<p>エネルギー、資源、食、水、輸送、消費生活など様々な分野において生じている問題とその解決策について、国際ネットワークをもとに多面的に議論し、持続可能な将来を確固たるものにするべく相互理解を深める場を提供するための国際会議を実施した。</p> <p>本会議を開催したことにより、目的であるエネルギー、資源、食、水、輸送、消費生活など様々な分野において生じている問題とその解決策に関する多面的な議論を行うことができた。また、その議論を通して、持続可能な将来を確固たるものにしていくための相互理解を深める場を提供することができた。広くライフサイクル思考に基づくシステム分析、およびその周辺領域(社会経済領域を含む)を対象として研究発表を募ってセッションを編成した。とくに、実践面からも研究面からも注目度の高い資源、素材、農業・食糧、化学、ICT分野について、主催者側で企画して招待講演を含むセッションを編成した。さらに、分野を限定せずに産業界における実践を中心に議論するセッションを編成した。これらの企画セッション(特別セッション)においては、持続可能性のための最先端技術、産業界におけるマネジメントの実践、新しい方法論と規格化に関連して注目されている諸手法に関して研究発表と充実した議論を行った。このセッションの成果として、各産業分野および各地域における最新情報を多くの国々から参集した参加者が共有し、議論を通して相互理解を深めることができた。その他のセッションおよびクロージングプレナリで開催したパネルディスカッション「EcoBalance+20」においても同様に、ライフサイクルマネジメント実践の最新事例、ライフサイクル評価などの最先端の手法論に関する情報共有と、議論が行われた。</p> <p>本会議が対象としているライフサイクル思考に基づくシステム分析、およびその周辺領域に関する研究の推進は、座学だけでは達成することができない。産業界における実践と産学の協働によりはじめて学術研究とそれを応用した社会・環境への貢献が推進されると言っても過言ではない。そのため、準備段階から、産業界からの参画を奨励した。参加者からは、産業界からの発表件数と参加者数の多いセッションを高く評価する声が聞かれた。今後も隔年で開催を予定しているエコバランス国際会議においては、これまで以上に産業界からの参画を奨励し、産学の協働による学術研究の推進と持続可能な社会の実現に向けて貢献していきたい。</p>		1,000	国際会議		
		日本LCA学会	【実施地等】茨城			【重点事項 該当事業】	
		http://ilcaj.sntt.or.jp/EcoBalance2014/					【実施期間】2014/10/27～2014/10/30